



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2014年1月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



2014年、あけましておめでとうございます。

今年は、これまでの活動を踏まえて、次のステージへの展開を目指せればと思っております。

どうぞ、今年もよろしくお願い申し上げます。

(目次)

1. 「子どもの森づくり運動」2014年活動計画案
 2. 「子どもの森づくり運動」全国集会&研修会レポート
 3. 事務局からのお知らせ
- どんぐり博士の育苗講座 2014～基本編⑩～

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟

(順不同) (社)国土緑化推進機構

全国森林インストラクター会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(社)大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(社)日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. 「子どもの森づくり運動」2014年活動計画案

年頭にあたり、事務局としての2014年活動計画案を提示させていただきます。皆様と共に創りあげてまいりました活動です。また案の段階ですので積極的なご意見、ご要望等をお送りいただけます様お願い申し上げます。

1. 2014年活動目的 ⇒ 「子どもの森づくり運動」6年間の活動実績を踏まえ、運動を展開します。

2. 活動テーマ

以下、主な活動テーマを三つ提示しました。

1) 活動成果の確認～苗木の成長を見に行く活動～

全国で植樹された苗木を見に行き、その成長を確認する活動を提案します。苗木の成長は、それぞれの実施園における活動の成果であり、子どもの育ちの成果でもあります。是非、事務局まで成果レポートをお送り下さい。子森通信やホームページ等において紹介させていただきます。

2) 「子どもの森づくり運動」東北復興グリーンウェイ(「東北復興GW」)被災地での植樹活動

「東北復興GW」における岩手県山田町での第一回目の植樹活動を、下記の内容で実施します。

①5月中旬、苗木を山田町に送る活動(詳細は後日ご案内します。)

②2014年5月21日(水)植樹フィールドの整備活動

整備作業は、山田町の保育園男性保育士によって結成された「男心会」を中心に、保護者、行政、地域住民、全国参加園有志、サポーターが集って実施予定。

③2014年5月22日(木)山田町の三つの保育園を中心に行う植樹活動

全国の参加園からも有志が参加予定。

3) 新規活動プログラムの開発と普及

「森のようちえん」の活動に代表される様に、今、子どもたちの育ちの場としての森林の価値が見直されています。「子どもの森づくり運動」においても、保育活動に対応したオリジナルの“森で遊ぶプログラム”を確立して提供します。

3. 2014年活動スケジュール(予定)

	主な活動項目	普及・広報イベント
春	○苗木をお披露目する活動 ○苗木の成長を見に行く活動 ○「東北復興GW」苗木を見送る活動 ○「東北復興GW」被災地に苗木を植える活動	○アウトドアズデイ ○ロハスデザイン大賞 ○グリーンウェイ
夏	○苗木を見守る活動(夏草刈り)	○森で遊ぶプログラム 体験キャンプ
秋	○育った苗木を植える活動 ○地域でどんぐりを拾って、ポットやプランターに植える活動 ○「東北復興GW」東北でどんぐりを拾って、全国に届ける活動	○九州ブロック研修会 ○エコプロダクツ展

2. 「子どもの森づくり運動」全国集会&研修会レポート

2008年から活動を開始した「子どもの森づくり運動」が2013年、6年目を迎えました。

そこで、2013年11月28日、29日の両日で、池袋「サンシャインシティ」会議室においてこれまでの活動をふり返し、これからのより良き活動をみんなで協議する場として、「子どもの森づくり運動」全国集会&研修会を開催しました。

以下、簡単ですが実施レポートです。実施内容の詳細は、ホームページにてご紹介しております。

○11月28日(木)全国集会



「子森ネット」岡村理事主催者あいさつ



日本郵政片野様ご来賓ごあいさつ



基調講演1:清水国明講師



基調講演2:藤森平司講師



実施園活動発表



意見交換会

○11月29日(金)研修会



研修講座1:自然体験・環境学習講座(大石講師)



研修講座2:危機管理講座(鎌田講師)

3. 事務局からのお知らせ

1) ワークショップ開催のご案内

子どもの健全育成を目的とした様々なCSR活動に取り組む企業が集う「とびだせキッズ！みんなで体験活動ワールド」（主催：文部科学省）に、「子どもの森づくり運動」特別ご協賛企業 日本郵政グループさんが出展され「子森ネット」との協働で下記のワークショップを開催します。イベント、ワークショップ共、参加費無料です。会場が東京のみの案内で恐縮ですが、よろしければご参加ください。詳細は、同封のチラシ、あるいは公式ホームページをご参照願います。

○実施概要

①開催日時：2014年2月1日（土）・2日（日）10:00～17:00

②開催会場：サンシャインシティ（東京・池袋）

ワールドインポートマート4F 展示ホールA-1

③ブース名：日本郵政グループ（ブースNo.：7番）

④開催ワークショップ

・森の絵はがきづくり

間伐材を使用したはがきに絵を描き、切手（日本郵政グループ提供）を貼り、ブース内のレプリカポストに差し入れる体験です。ポストに入れたはがきは、実際に郵便物としてあて先に届けられます。

・ウッドクラフト

自然木のパーツを組み合わせて、自由に動物や昆虫を作る体験講座です。



* ホームページ ⇒ <http://kids-taikens.com/index.html>

* 写真：ウッドクラフト作品例 ⇒



●どんぐり博士の育苗講座 2014～基本編⑩～

基本編の最後のテーマとして前回から植樹について記していますが、今回は、植樹のメイン活動となる、苗を植樹地に植え付ける方法を記します。苗はポットで育てたポット苗を使用して説明します。*どんぐり博士：河内和男（森林インストラクター）



植樹を実施するには、整地など前もつての準備が有るのですが、付随事項は後回しにして、まずは苗を地面に植え付ける植樹についてです。植樹する苗は子森活動で一般的な、どんぐりを植えてから3年目で、大きさは10cmから30cm程度、さらにポット苗では、ポットの形に合わせて、10数センチの直径と深さで、根の塊ができています。それではこの苗を植樹しましょう。

①穴を掘る

一般的なスコップで穴を掘るのが良いです。スコップを深く土に差し込んで穴を掘れば、直径・深さ共に30cm程度の穴ができます。苗の根に対して余裕のある穴が良いのでこの程度がちょうど良いです。

②苗をポットから取り出す

穴を掘り終わって、植える直前にポットから取り出します。根の乾燥を防ぐためです。ポット底の穴から中を押せば、ポットの形になった根が綺麗に抜けます。根張りが強く抜けない場合は、ポリポットを破いてください。苗を持って無理に引っ張ったりしないように。

③苗を植え付ける

ポットから取り出した根の一番上がちょうど隠れる程度に植えます。そのため掘った穴のままでは深すぎますので、掘り出した土を軟らかくして少しもどし深さを調整します。その上に苗を置きしっかりと土を入れ、最後に苗の周囲の土を上から押して固めます。水をあげて終了です。以上の流れが植樹作業の基本です。さらに苗の根付きを良くするための工夫を加えることもできます。次回はその工夫等について記したいと思います。